

令和6年度 学校関係者評価

令和7年1月22日(水)

場 所 東小学校 会議室

【意見交換】(・委員から ○学校から)

・先生、生徒、保護者の回答を見比べて、率直に思ったことは、本来家庭でやらなければならないことを学校に求められている傾向があるのが気になります。共働きで保護者も自分の時間の使い方に苦慮し、いっぱいいっぱいになっています。親の子育ての中で、情報がたくさんありすぎて本当は分からないことだらけだと思います。学校に「～してほしい」という前に保護者がやらなければならないことがあります。そんな保護者たちに気持ちの余裕をつくるためのヒントを与えるような情報発信が必要ではないかと考えます。

(例) 子育てに関する推奨文庫の紹介、地域と協力して子育てできるような場づくり

・デンマーク等海外では、点数をつける教育というよりも子供たちの情緒を育む教育を行っています。地域や家庭を育むための学校に教育組織が必要です。学校には地域をもっと生かしてほしいです。

・授業参観をさせていただいた際に、特別支援学級の少人数指導もとてもよかったのですが、もっと交流を深めてはいかがでしょうか。それとも普段はどの程度交流されているのでしょうか。

○昔と大分変わり、千葉県もインクルーシブ教育システムの構築を目指しています。本校は、よみかきそろばんである国語、算数を主に少人数で、そのほかの理科や社会、音楽、総合的な学習などは交流学級で行い子供同士の交流も深めています。保護者の理解も進み、学校と保護者で連携しながら取り組むことができています。さらに2年生の時には特別支援学校との交流があります。今年度はオンラインで交流しました。スペクトラム=私たちの延長上として捉えています。

・授業参観をさせていただき、子供たちの授業態度が大変よかったことに驚きました。子供たち同士の交流もあり、個別の環境も用意され、楽しいときに笑顔が見られる授業が多くありました。

・地域がもっと子供の受け皿になることができるとよいと思います。

○再来年度から東金市はコミュニティスクールを開始するので、その重要度は、更に増していくものと思われます。

・食育について、東中学校でも朝食を食べない生徒が一定数いるそうです。朝食を食べるか否かで成績に差が出ることも分かっており、食育に関する指導(早寝早起き朝ご飯)の啓発が必要と考えます。

・親子の会話にしても一つ一つの環境が異なります。学校には大きなことを教育者として、地域にフィードバックしてほしいです。地域も受け皿のニーズを求めていく必要があるのではと考えています。

○アンケート結果から見える認識のずれについては、情報提供の仕方を工夫していく必要を感じています。現在、学校だよりを配信していますが開封されているのは7割強です。「紙がいい」と言う方もいます。「さくら連絡網で配信するから、パパ、ママ、見てね!」という声掛けや保護者が見ると得をする情報を提供できたらよいと考えています。

・人が足りない学校現場に心を痛めています。先生を増やしていくことはできないのでしょうか。海外では先生方の働き方で16:30~の電話対応はしていないと聞きます。アメリカでは生徒指導は警察が行っています。日本はコンプライアンスや教育という名のもと、なんでも先生方がやらなければならない状況にあります。保護者が学校に協力する視点が重要で、大人が楽しそうに問題(問題も自分で選ぶ)を解決していく姿勢を子供たちに見せていくことができたらよいのではないのでしょうか。

- ・学校をみんなでバックアップしていく学校の応援団でありたいと思っています。今の東小学校は、先生方も校長先生を中心に、とてもよい感じで進んでいます。東学区がどんどんよくなってきています。私は子供の安全が一番とっていて、「子供たちが安心して通える学校」を常に考えてほしいです。先生方は子供たちや保護者に伝える場合も、伝えた後に本当にやっているかどうかを見極める必要があります。「この子供たちのためにどうするか」地域のために、人とのつながりを大切にしていきたいと考えます。保護者のモラルについては指導も必要です。自由記述を見ていると、本来家庭でやらなければならないことまで学校に要望をしていることが気になっています。
- ・家庭学習について、5分でも保護者が子供たちを見てくれるとよいです。また、給食の献立などを中心に会話を広げることができないのでしょうか。孫の友達は朝食を食べていないと聞きます。お家の方が用意できないのであれば、自分で簡単な物を作って食べられるようにすることができるとよいです。地域で小学校、小学生を大事にしていきたいです。
- ・学校だより「東っこ」の発行頻度はどれくらいですか？
○2週間に一度発行しています。子供たちの励みにもなるように、子供の学校の様子を家庭にもタイムリーに伝えたいと考えています。
- ・全国で表彰された学校体育について教えてください。
○体育の授業研究の指定を受けて、指導方法の特徴について授業実践と授業公開をしました。その結果、昨年に千葉県で表彰を受け、今年は全国で表彰されました。
- ・学校評価アンケートについて、保護者の回答率が低いのが関心の低さに表れています。
今は、共働き家庭が増えて、団らんをとる、食卓を囲むということがどれくらい行われているのでしょうか。欠食児童の家庭、ゲーム三昧で朝起きられない、共働きで先に保護者が家を出てしまうなどの問題が増えてきているように感じます。
- ・学校の問題と家庭の問題が混在しているように感じます。なんでも学校、学校はよくないです。学校に対して批判する場所ではなく、困っているところをみんなで話し合っ解決していくことができたらと思います。先生方の仕事はアメリカでは授業だけを行えばよいのですが、日本は先生たちが何でも背負っています。人間としてルールを破ったらそのときに関わった人が指導すればよいのではないのでしょうか。保護者が学校に何かを要望する場合、自分たちも体を動かしてボランティアをやるというようなことができるとよいと思います。
- ・地域でこども食堂のようなところがあるとよいです。子供が自由に行ける、小学生、中学生、高校生も行けて、高校生が小学生の勉強を教えたり、いろいろな学年の子供たちが混じって話をしたりできる場です。学習面では、小学校での差が中学校で大きな差になっていることを危惧しています。
- ・食育など、家庭と学校が連携して取り組めるとよいと感じました。保護者もあいさつなど本来家庭ですべき所は家庭で行っていくように見直していくことも必要です。先生方をお願いしたいことは、先生方の熱意です。挨拶をしても元気がない先生もいらっしゃいます。ぜひ、元気に熱意をもって子供たちの前に立ってください。